

# 3次補正やり直し

## 持続化給付金・家賃支援打ち切るな 直接支援 継続・拡充を

感染状況は、きわめて深刻。ところが政府の第3次補正予算案はコロナ収束が前提で、持続化給付金や家賃支援給付金の申請を今月15日に打ち切ってしまう。医療機関の減収を補てんする措置もありません。一方、「GoToキャンペーン」は6月末まで実施です。

### GoTo中止せよ

共産党の志位委員長は「収束前提はもはや成り立たない。3次補正はいまか

らやり直しを」「GoToはきっぱり中止し、直接支援に切り替えよ」と主張しています。



### 制裁でなく連帯こそ

政府の対策には時短要請に応じない場合の店名公表などが盛り込まれています。「制裁」は国民同士の対立と分断しかもたらしません。感染対策としては最悪。国民の連帯こそ必要です。

折り目

# 十分な補償と検査の 抜本的強化を

## 緊急事態宣言

志位委員長が表明

**日本共産党**

# 菅政権の責任は重大

コロナ感染の急拡大に歯止めがかからない中、菅首相は7日、首都圏の1都3県に緊急事態宣言を発出しました。「GoTo」事業に固執するなど、状況をここまで悪化させた菅政権の責任はきわめて重大です。



## 「宣言」根拠示して説明を

共産党の志位和夫委員長は、政府は“宣言は必要ない”としていたのに「なぜ発令に至ったのか」など菅首相が根拠を示して説明することを要求。その上で「二つの点での対策が必要だ」と強調しました。

① 様々な自粛要請に対し、安心して店を閉められる十分な補償を。

② 検査の抜本的拡充、特に無

症状者への積極的検査を行うこと。飲食店が感染拡大の場になっているのは事実だが、集団感染が一番多いのは医療機関と福祉施設。ここへのPCR検査（社会的検査）を徹底的に国費で行う。

菅政権には大失政への反省と姿勢の転換が必要です。これなしに国民の協力も信頼も得られません。

比例代表

近畿ブロック(定数28)

## 2→4議席へ倍増めざします

比例近畿ブロック  
名簿登載予定者



<b>こくた恵二</b> 党国会対策委員長 (衆院9期) 京都1区重複	<b>宮本たけし</b> 前衆議院議員 (衆院4期・参院1期) 大阪5区重複	<b>清水ただし</b> 衆議院議員 (2期) 大阪4区重複	<b>こむら潤</b> 兵庫・尼崎市議 (1期目) 兵庫8区重複	<b>たけやま彩子</b> 党京都府ジェンダー 平等委員会事務局長	<b>西田さえ子</b> 党大阪府委員会 くらし・営業対策委員長
--	---	---	---	---	--

制度解説

衆院選挙  
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます  
小選挙区は「候補者の名前」で

比例代表は政党名で投票します。個人名は無効です。

**近畿民報**

2021年1月 No.3(第446号)  
発行/日本共産党国会議員団  
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号  
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115  
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

\*日本共産党は以上の見解を発表しました。